

## 地域ブランド化をつくり出す



竹村 仁司 議員

**質問**  
市農産物のPR「ぐるぐる農産物」のステッカー作成に至った経緯と、現在の認定農家、これまでの取り組み、また今後のPR活動は。

**経済建設部長**  
ステッカーの作成に至ったのは、NPO法人田園社会プロジェクトが、市に対して「おいしい島のウーさま」をPRしてきたのがきっかけだ。漫画の内容は、食と環境の重要性が描かれ、それが農業に通じるものとなっている。農業の重要性を伝えるということ

で、ステッカーが誕生した。

このステッカーが使用できる農家は、県が認定するエコファーマー、または有機農業に取り組み農家となっております。現在その対象農家は76名で、ステッカーを活用している農家は19名。今後も市と農家が協力し合い、今まで以上に消費者にPRしていきたい。

**質問**

これまでの販路先は。また職員が販路先に出向くことは。

**経済建設部長**

県を巻き込んだブランド化に向けた展開については、昨年11月に、市の農家を応援するコラボ企画の1弾として、丸栄で開催した「あいちの農林水産フェア」に参加し、ぐるぐる農産物のステッカーを貼付したレンコンを販売した。その後、市のホームページにも掲載した。

現在までに確認した販路先としては、市内では、道の駅の産直施設や、JAグリーンセンターなどで多く販売され、消費者から安心・安全の証明とあっていただいている。このステッカーの貼付による販路先については、直接農家に聞いたり、職員が店舗に出向き確認をしている。今後、エコファーマーの周知に努めたい。

**質問**

小学校5年生を対象とした学習教材「アグリぐるぐるスクール」の利用方法は。

**経済建設部長**

学習教材「アグリぐるぐるスクール」は、子どもたちに

市のことをもっと知ってもらうため、農業の重要性、田んぼの必要性、地産地消をキーワードとして作成をした。

出前授業は、3小学校で実施している。9月の末には、永和小学校で実施する予定。

農地、農業の重要性を黒板に張り出し、漫画の「おいしい島のウーさま」の解説、児童からの質問を受け、そして、重要な農地を守るために、自



▲ぐるぐる農産物シール

分たちができるといふことで、地産地消の話をします。

子どもたちが、自分たちの役割がわかれば郷土愛が生まれ、自分たちの住んでいるまちがもっと好きになるといふことを最大のテーマとして、出前授業を実施している。

今後、教育委員会と連携しながら、市内全ての小学校で出前授業の実施をしていきたい。